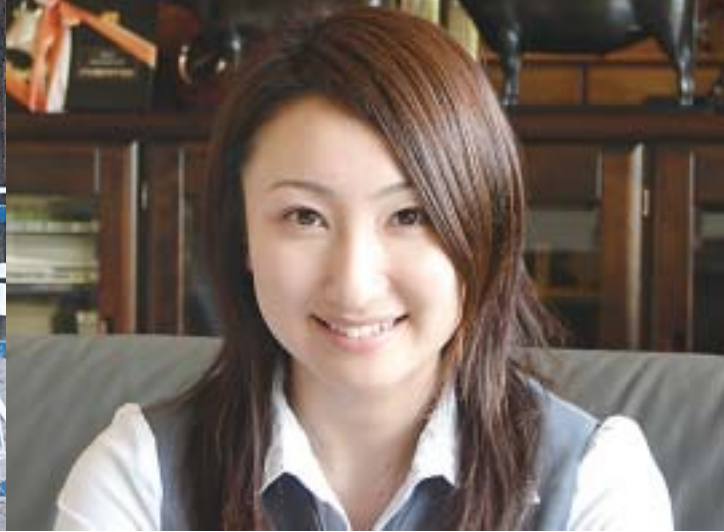




障害物競走中の当時高校3年生の華苗さん



主人公 インタビュー

みなと かなえ
湊 華苗さん (23歳)

映画「三本木農業高校、馬術部くさんのうばじゅつぐ」の主人公 菊池香苗のモチーフとなった本人に話を伺いました。当時を懐かしむ かのように、アルバムを開きながら笑顔で話してくれました。タカラコスモス(コスモ)は、日本獣医畜産大学で活躍中に「前部ブドウ膜炎」という病気で視力を失いました。

——自分がモチーフとなった映画が作られていることについてどう思いますか？

正直うれいですが、今回の映画化によりコスモが、再びこのような形で人に何かを伝え、脚光を浴びるようになったことをうれしく思います。

——一番うれしかったタカラコスモスとの思い出はどんなことですか？

うれしいことや楽しいことはたくさんありましたが、その中でも一番の思い出は、「コスモ」と呼んでみたら、ゆつくりとわたしの方に歩み寄って来てくれたときです。初めて彼女に認められたと実感できた瞬間でした。

——目の見えないタカラコスモスをどのように前に進ませたり、曲がらせたりするんですか？

基本的には、乗馬のテクニクは普通の馬と変わりありませんが、目の見えないことで人に頼る割合が大きいです。気を使うことが多くありました。今思うと、コスモもわたしに気を使っていたと思います。

——辛かったことは何ですか？

産まれてから8カ月間、毎日一緒に過ごしてきた「モスカ」(コスモの子)と離ればなれになったことです。今でも、共に過ごした時を昨日のことに覚えていて

馬術に打ち込んだ3年間はかけがえのない思い出です

——なぜ、三本木農業高校へ進学しようと思ったんですか？

小学6年生の時に、兄と一緒に三本木農業高校の文化祭に行き、初めて馬に乗りました。馬の背中は思いのほか高く、足が震えました。馬の歩くリズムに身を任せてみると、楽しくて、その時の爽快感が忘れられず、県内唯一の馬術部がある三本木農業高校に入学しました。

——馬術部の1日の活動について教えてください。

朝6時に起床し、馬に餌や水を配ります。そのあとに自分の身支度をして、授業を受けます。午後4時から8時までは、馬術練習や馬の世話があります。

馬術に打ち込んだ3年間は、わたしにとってかけがえのない思い出になっています。

問い合わせ先

総務課 文書
広報係 (☎内線
156)



駒っこ牧場でコスモとともに